

# 長期的ガバナンスにおける将来考慮機関の役割

## The Role of Future-Regarding Institutions in Long-Term Governance

○尾上成一<sup>1</sup>・田崎智宏<sup>1</sup>・亀山康子<sup>2</sup>

Masakazu Ogami, Tomohiro Tasaki, and Yasuko Kameyama

### 1. はじめに

近年、将来考慮機関が欧州をはじめとするいくつかの国と地域で設立されている。しばしば将来考慮機関とは、民主主義システムに生じる政治的短期志向を改善する目的をもって設立された組織体であるとされてきた。しかし各国での実例をみると多くの場合、将来考慮機関が政府や国会に対して強制力を伴う措置をとることはできない。したがって将来考慮機関の存在は、政治的短期志向の改善に資するとしても、それを保証するものではないと考えられる。そこで本稿では、将来考慮機関が長期的ガバナンスにおいて果たす役割について、より包括的な理解の提示を目指す。具体的には、将来考慮機関に長期的ガバナンスの規範的正統性を高める役割があることを示し、長期的ガバナンスの正統性の向上に寄与する将来考慮機関の機能をフィンランドとウェールズの例をもとに明らかにする。

### 2. 方法

#### (1) 正統性の規範的検討

長期的ガバナンスの正統性を向上させる経路をインプット、スループット、アウトプットの3つの領域から検討する。これら正統性に関する領域の区別は主に Scharpf (1999) と Schmidt (2013) による EU 研究に由来するが、本稿では正統性の議論を長期的ガバナンスの問題へと拡張することを試みる。

まず、将来世代の潜在的利益を政治的意思決定過程において現在世代が代表することにより、または政治への市民参加を促し市民の将来世代への関心を政治に反映させることによりインプット正統性が生じることを示す。次に、スループット正統性は長期的ガバナンスにおけるアカウンタビリティと透明性の確保により生じることを示す。そして、アウトプット正統性は人間の生存と繁栄を確保するガバナンスシステムの能力から生じることを示す。

#### (2) 規範的枠組みの適用

インプット、スループット、そしてアウトプット正統性を向上させる具体的な仕組みについて、Committee for the Future (フィンランド) と Future Generations Commissioner for Wales (ウェールズ) がもつ機能を分析し、検討する。分析は、これらの将来考慮機関を根拠づける法、将来考慮機関による出版物、将来考慮機関に関する先行研究などを参照し行う。

---

<sup>1</sup> 国立環境研究所 National Institute for Environmental Studies, Japan, 〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2, ogami.masakazu@nies.go.jp

<sup>2</sup> 東京大学大学院新領域創成科学研究科 Graduate School of Frontier Sciences, the University of Tokyo

### 3. 結果

表 1 は、各将来考慮機関の機能と、それらの機能がどのような経路で正統性の向上に寄与しているかを示したものである。例えば Committee for the Future が国会文書を作成する機能は、インプット及びスループット正統性の向上に貢献することを意味する。

表 1. 将来考慮機関の機能と正統性向上への寄与

将来考慮機関	機能	正統性向上への寄与		
		インプット	スループット	アウトプット
Committee for the Future (フィンランド)	国会文書の作成	X	X	
	様々な年齢層を対象とする公聴会の実施	X		
	出版物の制作、将来に関する調査研究、公開セミナーの実施			X
Future Generations Commissioner for Wales (ウェールズ)	公的機関やウェールズ議会委員会への助言、市民参加の促進	X		
	公的機関への勧告（正当な理由を公表しない限り逸脱できない）		X	
	定期的な報告書の提出、調査、若者への研修			X

### 4. 結論

将来考慮機関は、行政権や立法権を持たずとも、長期的なガバナンスの正統性向上に貢献することができる。長期的ガバナンスのインプット正統性向上に寄与する未来志向機関の機能としては、国会や政府における意思決定者にたいして将来世代の潜在的な利益を代弁することと、様々な年代の市民を対象とした公聴会を実施するなどして政治への市民参加を促進することが挙げられる。スループット正統性の向上に寄与する機能としては、国会文書を作成し政府に政策上の根拠や理由などを問うことや、正当な理由を公表しない限り逸脱することが許されない勧告を政府機関などに発令することが挙げられる。そしてアウトプット正統性は、拘束力のない勧告の発令、ポジションペーパーや報告書の出版、独自調査の実施、公開会議やセミナーの開催、若者を対象とした研修プログラムの構築といった、将来考慮機関が行う人類の生存や繁栄を目指した活動を通じて向上しうる。

### 5. 参考文献

- Scharpf, FW. (1999). *Governing in Europe: effective and democratic?* Oxford University Press.
- Schmidt, VA. (2013). "Democracy and legitimacy in the European Union revisited: input, output, and 'throughput.'" *Political Studies*, 61, 2-22.